

地域と連携した  
緑の道づくり

国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所

〒395-0024  
長野県飯田市東栄町3350番地  
電話 (0265) 53-7200 (代表)  
ファックス (0265) 53-7210  
E-メール cbr-iikoku@mlit.go.jp

# 飯田国道 NOW

飯田国道事務所からのお知らせ

平成31年2月21日

いいだ やまもと いがら  
国道153号（飯田市山本～伊賀良）の計画について  
地域の皆様のご意見を伺います。

## 1. 概要

国道153号（飯田市山本～伊賀良）の計画については、概略ルート・構造の検討（計画段階評価）を進めているところです。

その検討にあたり、地域の皆さまや道路をご利用される方等のご意見をお聴きたく、ご協力をお願いいたします。

### ●調査期間

平成31年2月22日（金）～平成31年4月15日（月）

**※全戸配布の住民アンケートについては、下伊那地域の各ご家庭へ  
3月中旬頃を目処に順次発送致します。**

### ●調査内容

- ・対策案（ルート帯案）を検討する際に重要だと思ふ事項

### ●調査方法

- ・アンケート調査
- ・聞き取り調査

## 2. 配付資料

アンケート調査方法（資料1）、アンケート調査票（資料2）

## 3. 配布先

長野県庁会見場、飯田市役所記者クラブ

## 4. 問い合わせ先

飯田国道事務所

副所長 まつい たかし  
松居 健

計画課長 おかもと ゆうじ  
岡本 由仁

TEL：0265-53-7204

FAX：0265-53-7211

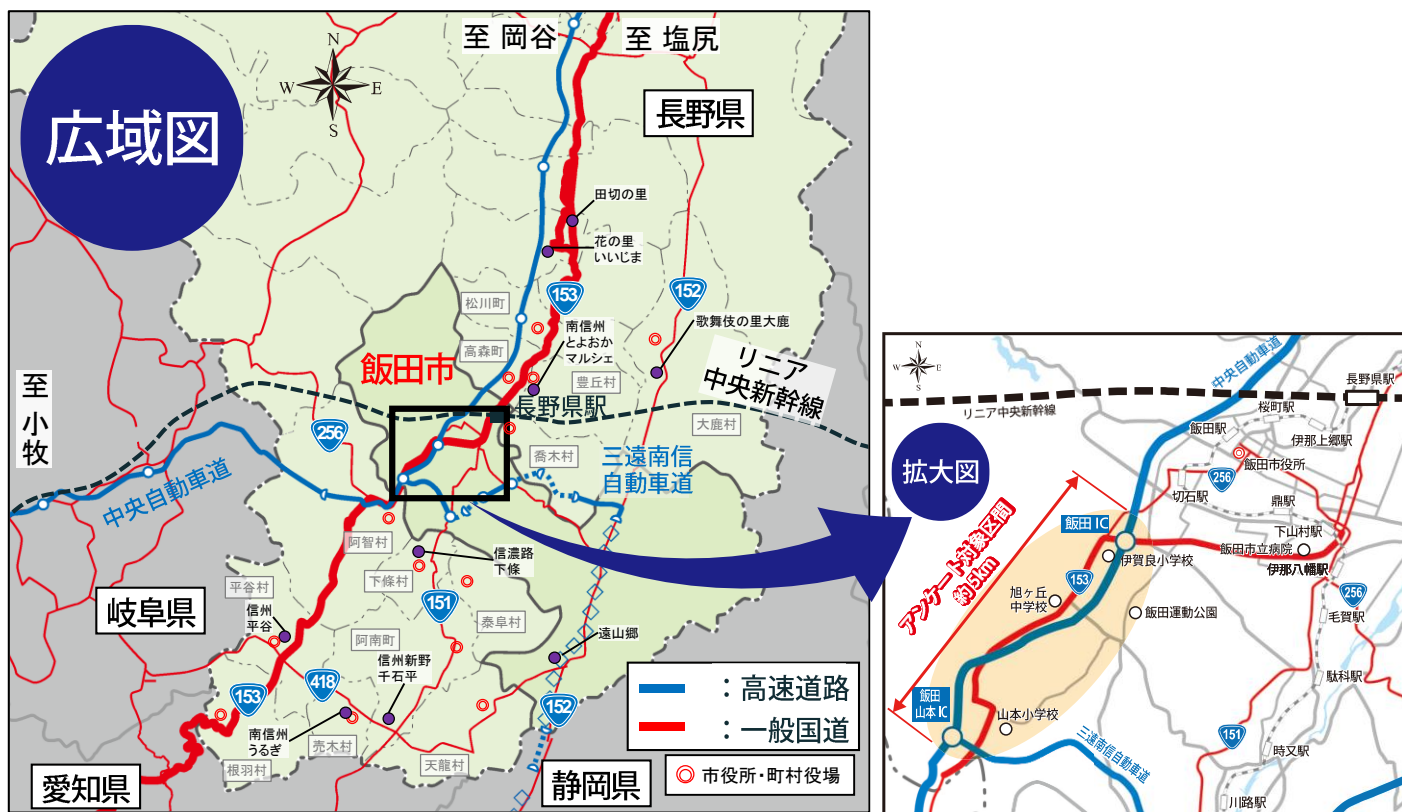
E-Mail：cbr-iikoku@mlit.go.jp

飯田国道事務所公式Twitterアカウント  
[https://twitter.com/mlit\\_iida](https://twitter.com/mlit_iida)

\* Twitter始めました

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

## 調査方法の詳細



| 調査対象             | 調査方法   |
|------------------|--|
| <p>周辺にお住まいの方</p> | <p>1) 飯田市、高森町、阿智村、下條村、泰阜村、喬木村、松川町、平谷村、根羽村、阿南町、売木村、天龍村、豊丘村、大鹿村の各戸に送付するアンケート調査票に回答<br/>           ※各ご家庭へ3月中旬頃を目処に順次発送致します。</p> <p>2) 飯田市、高森町、阿智村、下條村、泰阜村、喬木村、松川町、平谷村、根羽村、阿南町、売木村、天龍村、豊丘村、大鹿村の市役所・役場の本庁舎に設置のアンケート調査票に回答<br/>           ※アンケート調査票は2月22日から順次設置致します。</p> <p>3) 飯田国道事務所ホームページ(<a href="http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/">http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/</a>)にて、アンケート調査に回答</p> |
| <p>道路利用者の方</p>   | <p>1) 下伊那地域の道の駅等(遠山郷、花の里いいじま、田切の里、信州新野千石平、信州平谷、信濃路下條、南信州とよおかマルシェ、南信州うるぎ、歌舞伎の里大鹿等)に設置のアンケート調査票に回答<br/>           ※アンケート調査票は2月22日から順次設置致します。</p> <p>2) 飯田国道事務所ホームページ(<a href="http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/">http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/</a>)にて、アンケート調査に回答</p>   |

# 道路計画に関するご意見をお聞かせください



国道 **153** 号   
飯田市山本～飯田市伊賀良

の計画に関する  
第2回アンケート



このアンケートの対象は、国道153号（飯田市山本～飯田市伊賀良）の区間です。



アンケートの  
答え方は、  
P.2を  
ごらんください。



回答用の郵便はがきは、  
お近くのポストへ

**平成31年4月15日（月）**

までに投かんを  
お願いします。

※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

P.1

お問い合わせ先

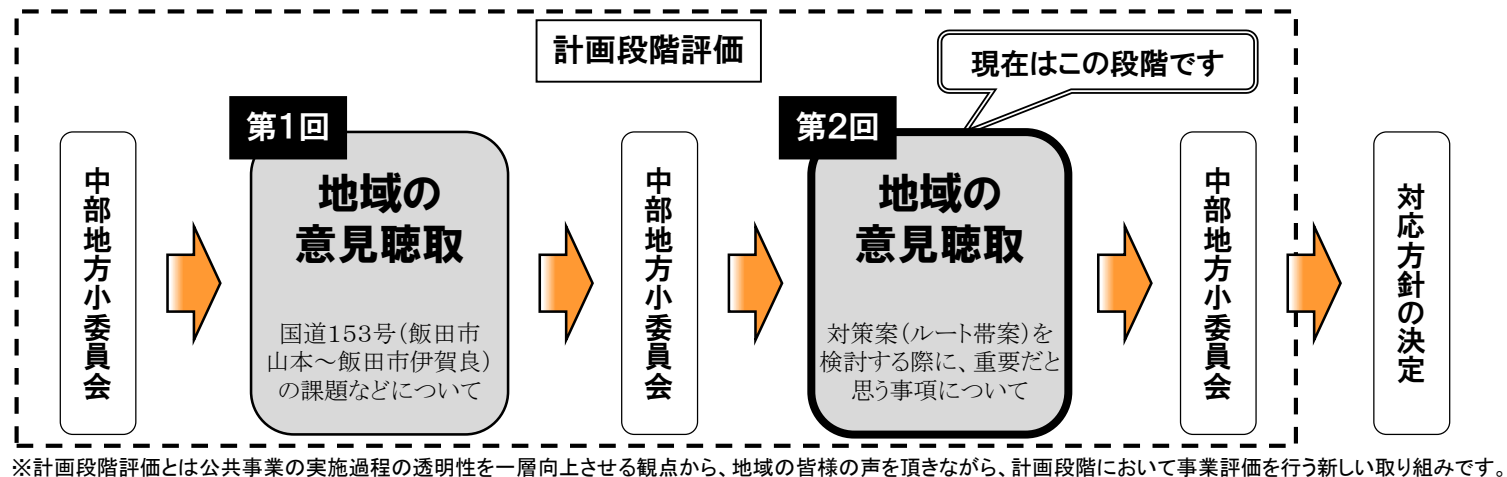


国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所 計画課

〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350  
電話：TEL(0265)53-7204(直通)  
ホームページ：http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/

## 本アンケートの位置づけと計画段階評価の流れ

- 国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)では、交通集中による渋滞、交通事故、産業・観光振興による自動車交通の増加などの課題がみられますので、その解決に有用な道路整備の計画検討を進めています。
- 第1回のアンケートでは地域の課題や地域に求められる道路の役割についてのご意見を頂き、政策目標を決定いたしました。第2回のアンケート(今回)では、政策目標をもとに、ルート帯案を選ぶ際に重要と感じるポイントについてご意見を伺うものです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 回答用の郵便はがきの記入例

- 回答用はがきは2通入っています。
- 世帯人数が**お一人の世帯**の方は、**1通のみ**ご回答お願いいたします。
- 世帯人数が**お二人以上の世帯**の方は、**2通**ご利用いただき、お二人よりご回答いただければ幸いです。

〈表面〉

〈裏面〉

郵便はがき

料金受取人払郵便

3 9 5 8 7 9 0

806

長野県飯田市東栄町3350  
国土交通省飯田国道事務所  
計画課 行

平成31年4月30日まで  
[切手不要]

〒153-0201 飯田市山本

国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)に関するアンケート  
あなた自身についてお聞かせください。回答は□に丸をつけてください。

問1-1 住所 [1つ選択]  
 1: 長野県飯田市(山本)  
 2: 長野県( )市・町・村( )  
 3: ( )都・道・府・県( )市・区・町・村( )  
 ※( )内に具体的に住所を記入してください。番地は不要です。

問1-2 性別  
 1: 男性  2: 女性

問1-3 年齢  
 1: 10代  2: 20代  3: 30代  4: 40代  
 5: 50代  6: 60代  7: 70歳以上

問1-4 自動車利用 [1つ選択]  
 1: ほぼ毎日  2: 週に数回程度  
 3: 月に数回程度  4: ほぼ利用しない  
 5: 利用したことがない

問1-5 対象区間の国道153号利用の有無 [1つ選択]  
 1: 利用する  2: 利用しない (→2と回答された方は裏面「問2-1」へ)

問1-6 対象区間の国道153号の主な利用目的 [1つ選択]  
 1: 仕事  2: 通勤・通学  
 3: 日常的な買い物・通院等  4: 観光・レジャー  
 5: その他( )

問1-7 主な利用時間 [複数選択可]  
 1: 0～3時  2: 3～6時  3: 6～9時  4: 9～12時  
 5: 12～15時  6: 15～18時  7: 18～21時  8: 21～24時

問1-8 主な目的地  
 (長野) 都・道・府・県  
 (飯田) 市・区・町・村 (北方)

問2-1 この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか?  
以下の①～⑩について、4段階評価してください。  
その他ご意見があれば⑪にご記入ください。

<4段階評価> 該当する数字を○で囲んで下さい。

そう思う 1    ややそう思う 2    あまりそう思わない 3    そう思わない 4

| 重要だと思う点                              | あなたの評価の程度 |
|--------------------------------------|-----------|
| ① 渋滞が少なくなることが重要                      | 1 2 3 4   |
| ② 交通事故の危険性が減少することが重要                 | 1 2 3 4   |
| ③ 歩行者が安全に通行できることが重要                  | 1 2 3 4   |
| ④ リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要      | 1 2 3 4   |
| ⑤ 自然環境の変化が少ないことが重要                   | 1 2 3 4   |
| ⑥ 工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要              | 1 2 3 4   |
| ⑦ 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要 | 1 2 3 4   |
| ⑧ 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要   | 1 2 3 4   |
| ⑨ 災害時に道路を通れることが重要                    | 1 2 3 4   |
| ⑩ 道路をつくる費用が安いことが重要                   | 1 2 3 4   |
| ⑪ その他(自由回答)                          |           |

問2-2 この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

飯田インター西交差点付近の渋滞を何とかしてほしい。

ご協力ありがとうございました。

国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)の現状について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。

## 地域の意見聴取の回答方法、実施期間

- 回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ **平成31年4月15日(月)** までに投かんをお願いします。

● ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

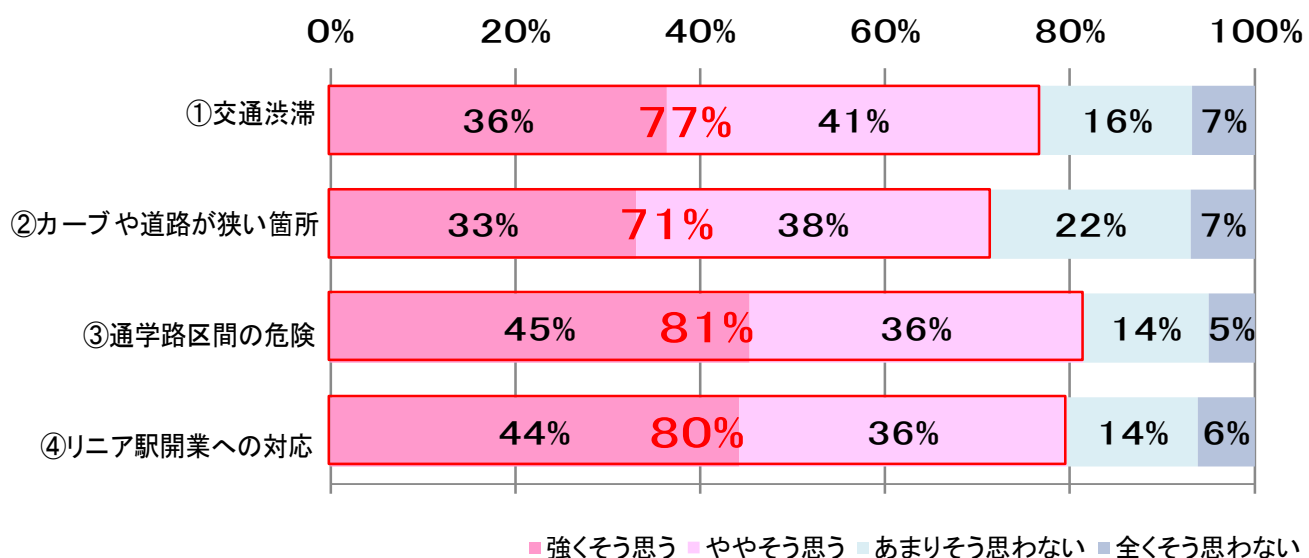
## 第1回意見聴取の結果

- 第1回意見聴取では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、10,900通余りものご意見が集まりました。頂いたご意見の結果を以下にお知らせいたします。

### (1) アンケート結果

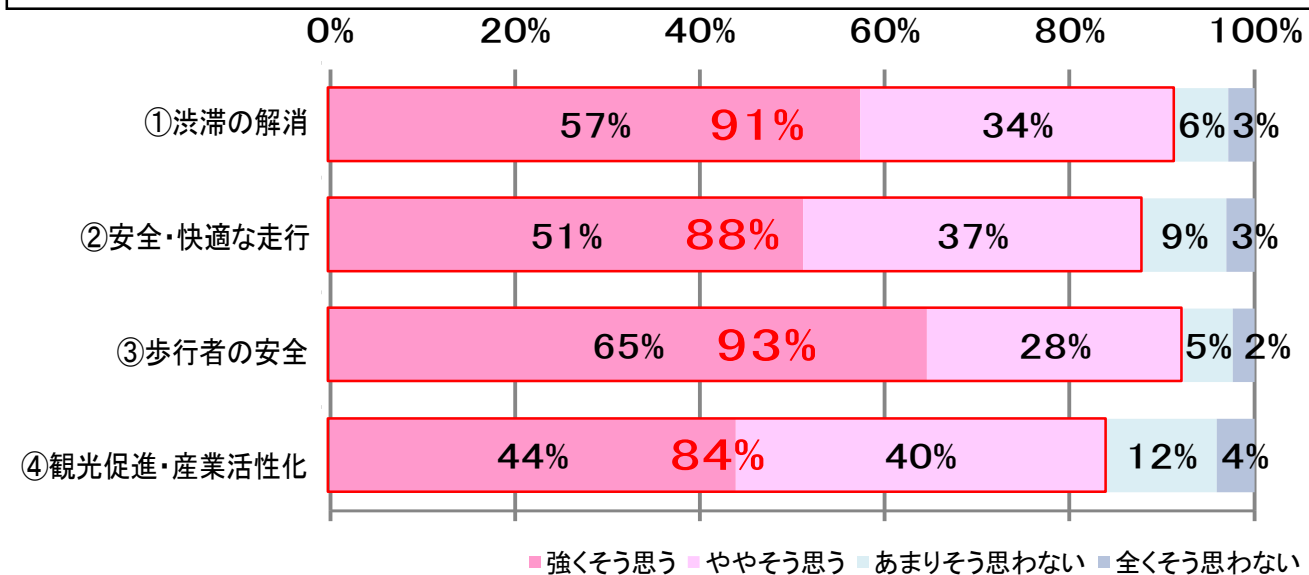
#### ■飯田市山本～飯田市伊賀良間の国道153号の課題について

交通の課題については、全ての項目について当該区間の道路の課題だと認識している人が多い傾向です。



#### ■飯田市山本～飯田市伊賀良間の国道153号に求める道路機能について

道路に求める機能としては、全ての項目について当該区間の道路に求める機能・役割だと実感している人が多い傾向です。



### (2) ヒアリング結果

- 飯田インター西交差点付近は渋滞が激しい交差点です。(消防署)
- 児童の通学のためにも歩道の確保が必要。通学時の安全性が向上すると考えている。(学校)
- 渋滞が無くなり、周遊できる施設数が増えれば観光ツアーを組みやすくなり、観光客も増加すると期待しています。(観光協会)

国道153号飯田市山本地区・伊賀良地区における課題解決のための目標を定めました

第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆様から頂いたご意見(第1回意見聴取結果)をもとに課題を解決するための目標を以下の通り定めました。

課題 1 渋滞

- ◆ 国道153号は、飯田市街地への通勤等に利用されています。
- ◆ 特に飯田IC西交差点付近では、朝夕を中心に渋滞が発生しています。



朝の渋滞状況

朝ピーク時渋滞状況(飯田IC西交差点付近)

第1回意見聴取で頂いたご意見

渋滞を解消してほしい

目標 交通の円滑化

課題 2 事故

- ◆ 対象区間では、死傷事故率が長野県平均の約1.5倍となっています。
- ◆ 歩道が狭い箇所があり、通学児童など歩行者が事故に巻き込まれる危険性があります。



現在の歩道の状況(児童通学時)(大瀬木交差点付近)

歩行者の近くを大型トラック等が通り危険

第1回意見聴取で頂いたご意見

十分な幅員確保・安全性の高い道路が必要

目標 交通安全の確保

課題 3 アクセス強化

- ◆ リニア中央新幹線長野県駅の開業による観光客の増加や産業の活性化が見込まれています。
- ◆ 県外からの観光客の誘客につなげるため、観光地へのアクセス向上が求められています。



観光振興



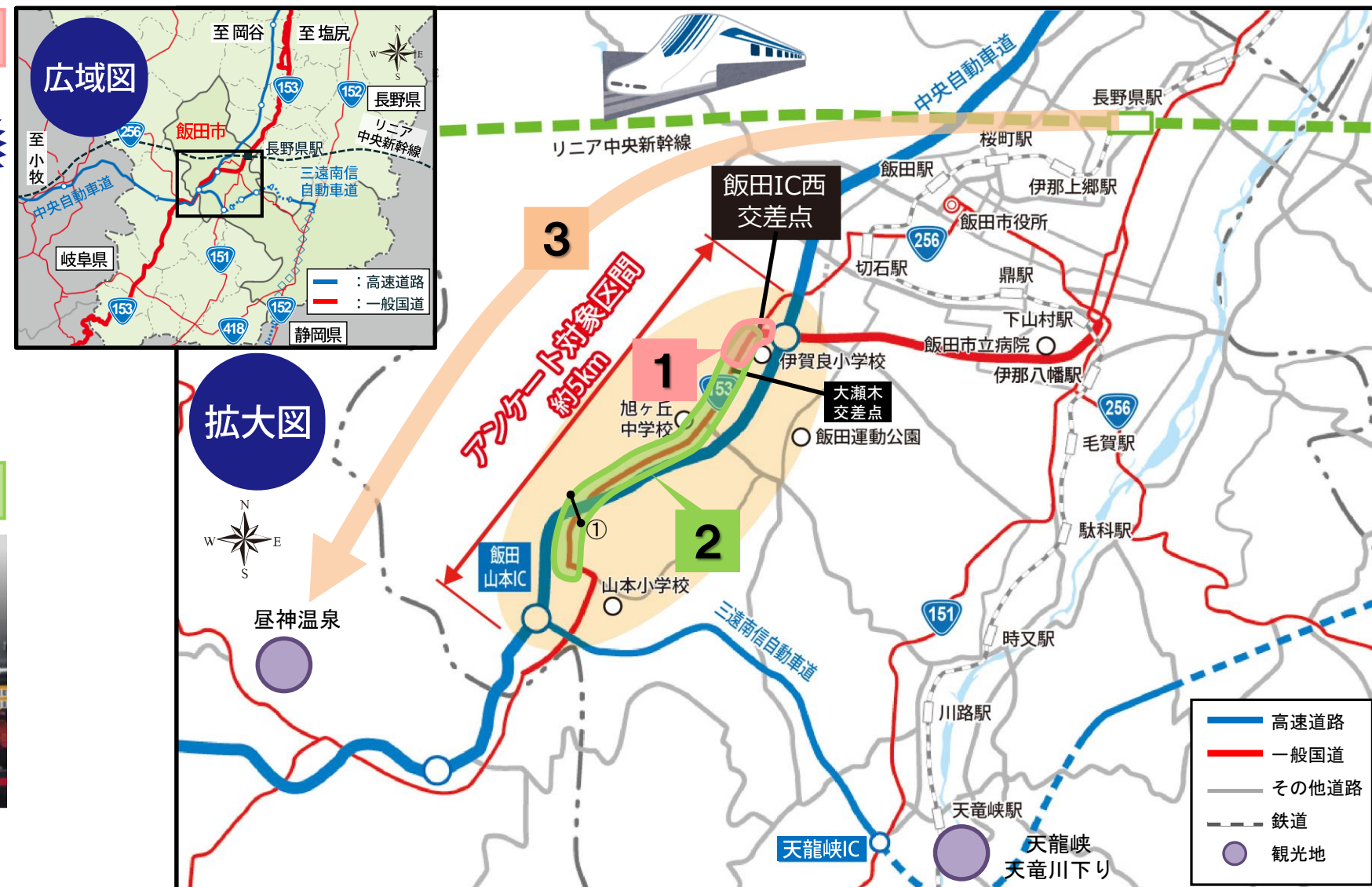
産業振興

成長が見込まれる航空宇宙産業

第1回意見聴取で頂いたご意見

産業拠点や観光地へのアクセス向上が必要

目標 地域振興



定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト: 渋滞の緩和、交通安全の確保、アクセス強化を図り、主要幹線道路及び安全・安心な生活道路としての機能向上を目指す

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

- 自然環境の保全
- 生活環境への配慮
- 防災への配慮
- 経済性への配慮

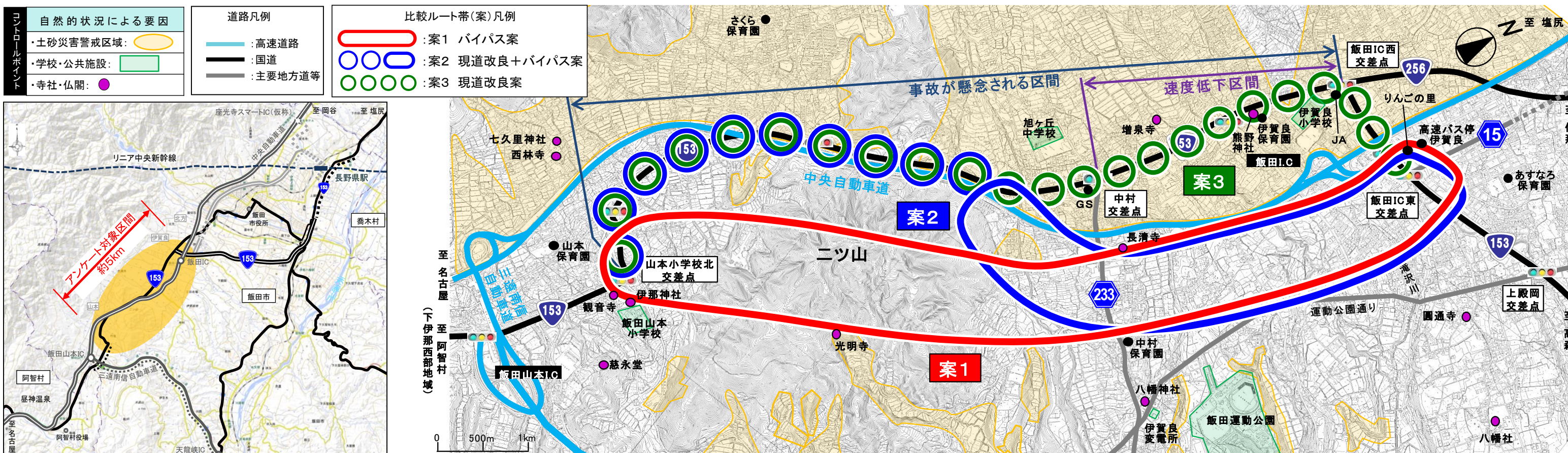
対策案の方針: 既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

○対策案を検討する上での重視すべき事項

- 渋滞が少なくなること
- 交通事故の危険性が減少すること
- 歩行者が安全に通行できること
- リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいこと
- 自然環境の変化が少ないこと
- 工事中の周辺住民への影響が小さいこと
- 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないこと
- 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれること
- 災害時に道路を通れること
- 道路をつくる費用が安いこと

地域の課題を解決するために、以下のような対策案(3つの比較案)を検討しています。対策案について、右下の質問事項にお答え下さい。

(1)各ルートの位置図



(2)各ルートの比較表

| 評価項目       | 番号                     | 評価ポイント                                       | 案1: バイパス案   | 案2: 現道改良+バイパス案   | 案3: 現道改良案  |   |
|------------|------------------------|--|---|--|--|---|
| 政策目標に対する評価 | 交通の円滑化                 | ① 渋滞が少なくなる                                   | 全線でバイパスを整備し、通過交通を分離することで、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案<br>約 4 km | 南側で現道拡幅、北側でバイパスを整備し、沿道利用を一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案<br>約 6 km                                | 全線で現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案<br>約 5 km |   |
|            | 交通安全の確保                | 事故   | ② 道路線形が良くなる   | 線形の良いバイパスができることで、安全性が向上  | 坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上                                | 坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上                 |
|            |                        | 歩行者の安全                                       | ③ 歩道の幅が広がる  | パイパスに交通が移ることで、歩行者の安全性が向上なお、現道については歩道の幅を広げることが可能となる   | 現道を改良する区間で歩道の幅が広くなり、安全性が向上                             | 歩道の幅が広くなり、安全性が向上                        |
|            | 地域振興                   | 移動のしやすさ                                      | ④ リニア長野県駅から観光地へ早く到着できる                                    | リニア長野県駅から観光地(屋神温泉)まで<br>現状:26分 → 将来:21分  | リニア長野県駅から観光地(屋神温泉)まで<br>現状:26分 → 将来:23分                | リニア長野県駅から観光地(屋神温泉)まで<br>現状:26分 → 将来:24分 |
| 配慮すべきポイント  | 自然環境の保全                | ⑤ 自然環境への影響が少ない                               | 全線で道路を新しく整備するため自然環境の変化が大きい                                | バイパス区間において道路を新しく整備するため、自然環境の変化が大きい   | 全線、現道を改良するため、自然環境の変化が小さい                               |   |
|            | 生活環境への配慮               | ⑥ 集落の近くで工事をしない                               | 集落を回避するため工事中における生活環境への影響は小さい                              | 現道を改良する区間において集落の近くで工事するため、案1より工事中における生活環境への影響が大きい  | 集落の近くで工事するため、工事中における生活環境への影響が大きい                       |   |
|            |                        | ⑦ 転居が必要な家・店舗の数が少ない                           | 集落を回避するため、転居が必要な家・店舗の数が少なく、現道の沿道改変がない                     | 現道を改良する区間で集落を通過するため、転居が必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある   | 集落を通過するため、転居が必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある                   |   |
|            |                        | ⑧ 沿道利用が見込まれる                                 | パイパスの沿道利用が見込まれるが、一方で通過交通がパイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少する       | バイパス区間ではパイパスの沿道利用が見込まれるが、一方で通過交通がパイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少する<br>また、現道を改良する区間では現道の沿道利用は変化しない | 現道の沿道利用は変化しない  |   |
| 災害における影響   | ⑨ 土石流等の危険性がある地域を回避すること | 土石流等の危険性がある地域を回避するため、他案に比べて災害時にも道路を通れる可能性が高い | 一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、案1と比べて、災害時に道路を通れるか懸案が残る         | 一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、案1と比べて、災害時に道路を通れるか懸案が残る  |  |   |
| その他        | 経済性                    | ⑩ 道路をつくる費用が安い                                | 約 200~220億円   | 約 190~210億円  | 約 220~240億円  |   |

(3)質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項  
**質問1:この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。**  
 以下の①~⑩の項目について、4段階評価してください。  
 その他ご意見があれば⑪にご記入ください。

< 4段階評価 >  
 1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

- ① 渋滞が少なくなることが重要
- ② 交通事故の危険性が減少することが重要
- ③ 歩行者が安全に通行できることが重要
- ④ リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要
- ⑤ 自然環境の変化が少ないことが重要
- ⑥ 工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要
- ⑦ 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要
- ⑧ 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要
- ⑨ 災害時に道路を通れることが重要
- ⑩ 道路をつくる費用が安いことが重要
- ⑪ その他(自由回答)

**質問2:この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。**

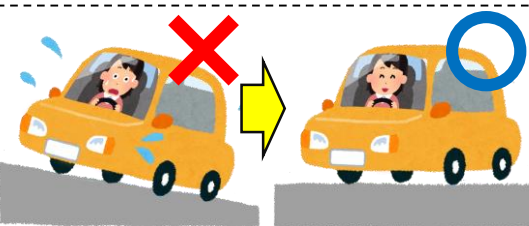
**質問:国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)の利用状況等についてお答え下さい。**  
 質問内容は、ハガキに記載してあります。

※現道:現在の国道153号

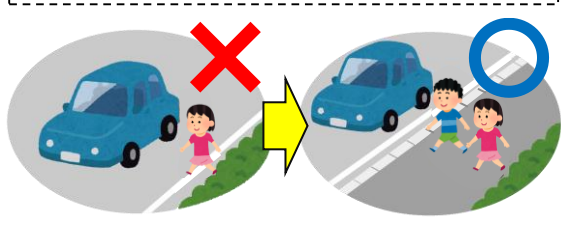
# 第2回 意見聴取の補足資料

## 質問事項のイメージ(例)

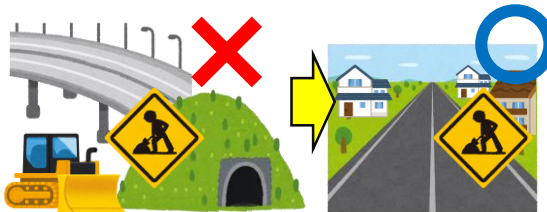
交通事故の危険性が減少することが重要



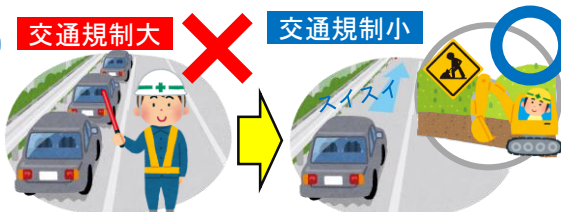
歩行者が安全に通行できることが重要



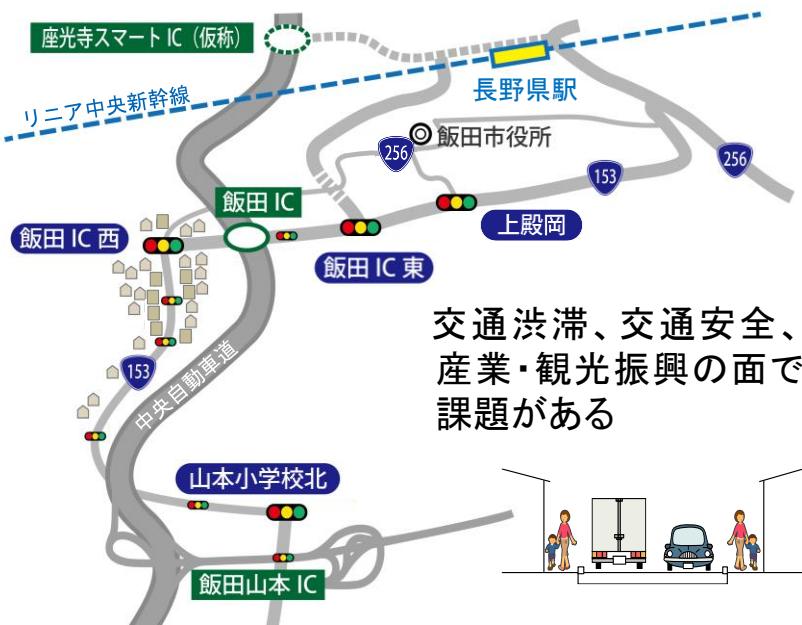
自然環境の変化が少ないこと



工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要



## 現況のイメージ

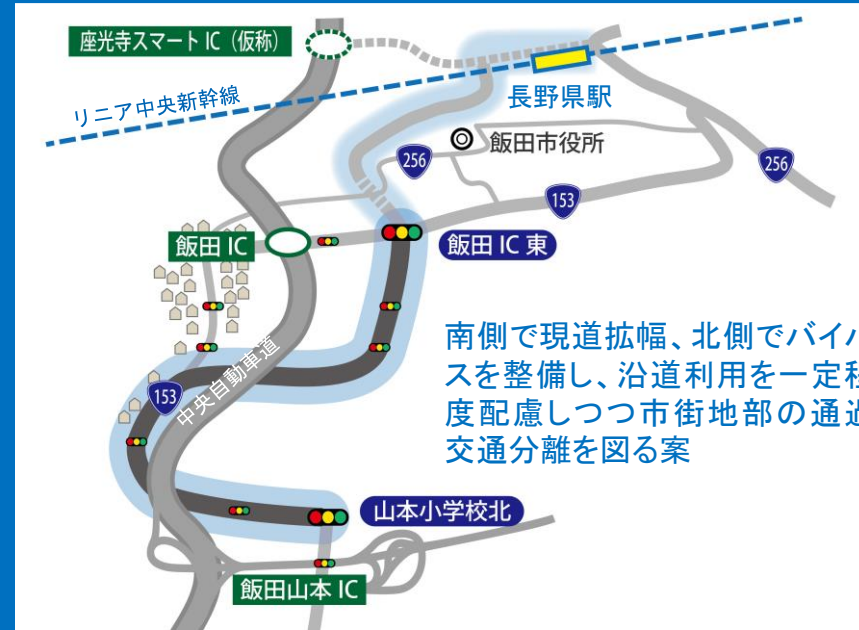


## 各ルート帯案の整備イメージ

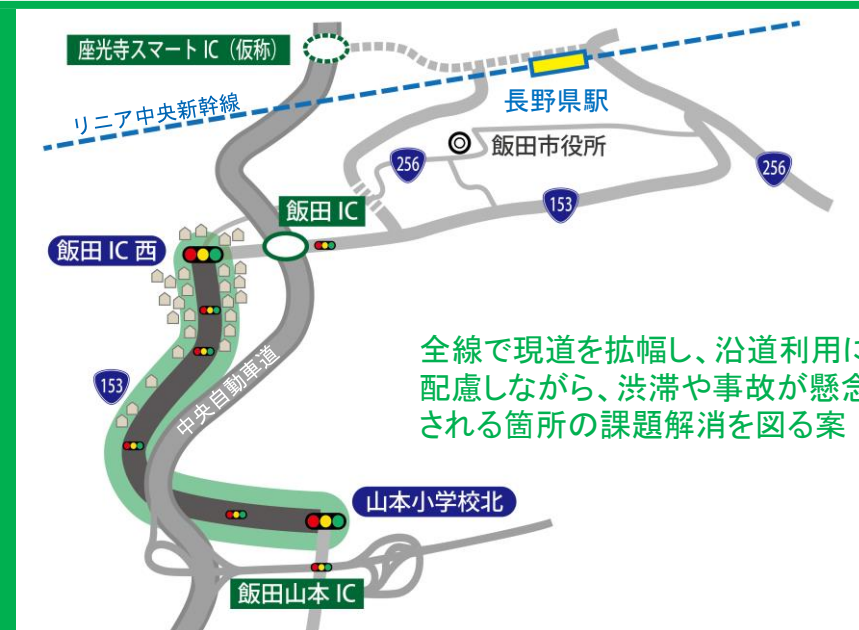
案1 バイパス案



案2 現道改良+バイパス案



案3 現道改良案



## 国道153号 (飯田市山本～飯田市伊賀良)

